

よくある質問集

Q.

国際言語文化研究科大学院博士前期課程にはどうしたら正規入学できるでしょうか。

A.

国際言語文化研究科で行う入学試験を受験し、合格する必要があります。試験日は、日本語文化専攻は9月、国際多元文化専攻は9月と2月となりますが、詳しくは国際言語文化研究科前期課程学生募集要項をご覧ください。国によっては渡日のために受験のためのビザを申請する必要があります。現状では多くの学生が研究生の期間を経てから受験します。

Q.

大学院博士後期課程にはどうしたら正規入学できるでしょうか？

A.

国際言語文化研究科で行う入学試験を受験し、合格する必要があります。試験日は、2月となりますが、詳しくは国際言語文化研究科後期課程学生募集要項をご覧ください。国によっては渡日のために受験のためのビザ申請をする必要があります。

Q.

大学院博士前期課程の募集要項はどこに請求しますか？

A.

名古屋大学大学院国際言語文化研究科事務室 (gen-jim@post.jimu.nagoya-u.ac.jp) に請求してください。

Q.

大学院博士後期課程の募集要項はどこに請求しますか？

A.

名古屋大学大学院国際言語文化研究科事務室 (gen-jim@post.jimu.nagoya-u.ac.jp) に請求してください。

Q.

博士前期課程の過去問題を入手できますか？

A.

インターネットで閲覧できます。外国語の試験は、著作権の関係で、インターネット上ですべては公表されていません。国際言語文化研究科教務課（文系総合館）で過去問題を閲覧することができます。コピーや貸し出しはできません。閲覧は土曜、日曜、祝日、大学が定める休日及び入学試験前日を除く、8：30～17：00までです。

Q

研究生への応募はどのようにしますか？

A.

留学生相談室 (prospective@lang.nagoya-u.ac.jp) にエントリーシートと研究計画書をお送りください。エントリーシートは留学生相談室に請求してください。研究計画書はA4で2枚程度です。日本語教育講座、(応用言語学講座、現代日本語学講座及び日本語教育方法論講座を希望する場合は、指導を希望する教員に直接連絡を取ってください。また、修士号取得(見込み)者も、指導を希望する教員に直接連絡をとってください。

Q.

研究生の入学時期はいつですか？

A.

毎年4月と10月です。4月入学の場合、出願締め切りは前年の11月15日、10月入学の場合は同年の5月15日です。

Q.

奨学金はありますか。

A.

一年目から支給されるものもありますが、通常は日本に着いてから、各自申請します。名古屋大学の私費留学生のうち奨学金受給者は約30%です。また、私費留学生への奨学金の多くは支給対象者が大学院生で、研究生を支給対象とする奨学金はほとんどありません。

Q.

授業料免除の制度はありますか。

A.

ありますが、大学院生が対象で、研究生は対象外です。

Q.

住む場所はどのように見つけますか？

A.

新規渡日の学生のほとんどは名古屋大学の3つの留学生寮のうちの一つに入ることができます。ただし、6か月または1年後には退去しなければなりません。その後は、自分で住む場所を見つけてます。民間のアパートや、市営・県営のアパートなどに申し込みます。

Q.

生活費はどの程度必要ですか？

A.

多くの留学生は、1か月7万円程度で生活しています。

Q.

アルバイトはできますか？

A.

できます。留学生がアルバイトをする場合、事前に資格外活動の許可を得る必要があります。許可の範囲内で働くことができます。名古屋大学では、原則として渡日後3か月以内のアルバイトを禁じています。

Q.

研究生の研究期間はどれくらいですか？

A.

6か月から最長2年です。